

(7) 材料無償支給高

材料	
月初在庫 23,590,449	消費 25,180,533
	原価差異 41,814
仕入 38,498,049	月末在庫 27,888,103

【手順】

SHIN側では、基幹システムで「無償支給の払出」に当たる出庫取引データを当該「237 外注先へ移動」データ(出庫)として取り込みます。同時に「137 外注先へ移動」データ(入庫)も作成し、この場合払出した材料等は出庫・入庫の両建てにより変化はありません。

この後、SHINの標準原価構成マスターで、「工程区分」=「外注工程」と設定した工程について、外注先から完成部品等が返ってきた際、受入在庫処理を行います。当該部品の検収金額は、外注費の「101 仕入」データを作成しますが、同時に「211 消費」データも作られ、仕掛品の外注費「投入」データとなります。このように、無償支給の場合は、1)材料の置き場所が社内でないことと、2)投入費用が「労務費」ではなく、「外注費」であるという点がこととなりますが、計算構造は社内製造と変わりません。

No	内容	前提	アクション	作成されるトランザクション	作成する会計仕訳
①	無償支給材料購入時		基幹システムにて「材料仕入」(入庫)入力	材料(101 仕入)データ	[製]材料仕入高 100/買掛金 100
②	無償支給材料の払出時	出庫	基幹システムにて「無償支給払出」(出庫)入力	材料(237 外注先へ移動)データ	
		入庫	基幹システムにて「無償支給入庫」(入庫)入力	材料(137 外注先へ移動)データ	
③	外注先からの完成品受入時		基幹システムにて「材料(部品)仕入」(入庫)入力	材料(101 仕入)データ	[製]外注費 20/買掛金 20
④	外注加工部品の消費時		基幹システムにて「材料(部品)消費」(出庫)入力	材料(211 消費)データ	

